

第22回地方対日投資会議（沖縄県・宮古島市）報告書

平成22年11月
対日直接投資推進室

【結 果】

今回の第22回地方対日投資会議は、対日直接投資の意義や利点について紹介し、地方自治体や市民の理解を深めることを目的として開催しました。

今回の会議により、「対日直接投資が増えて欲しい」と感じた方が8割超（会場アンケート結果）となるなど、対日直接投資への理解を深めることができました。

将来の市場拡大が予想される太陽光発電分野における対日直接投資の意義や課題について議論した結果、直接投資が成長分野の国内市場をより活性化させる効果が期待されること、我が国の魅力を世界に向けて発信していくことの重要性などを参加者と共有しました。

【日時・会場】

日時：平成22年11月11日（木）14：00－16：30

会場：ホテルアトールエメラルド宮古島（沖縄県宮古島市平良字下里 108-7）

【主催・共催等】

主催：内閣府

共催：沖縄県、宮古島市、日本貿易振興機構（JETRO）後援：経済産業省

【参加人数】

合計58名

うち、来場者45名（産業界：23名、議員・役所：9名、プレス：5名など）

うち、来賓・講演者9名

うち、関係者4名

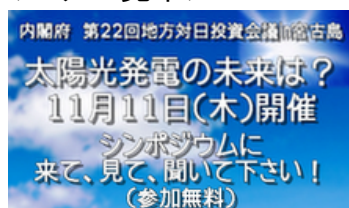
【募 集】

参加無料、申込不要として、幅広く募集を行いました。

新聞記事及び広告（宮古毎日新聞、宮古新報）、HPバナー（内閣府等）によって、募集を展開するとともに、内閣府沖縄総合事務局経済産業部から宮古島商工会議所への声掛け等、関係機関からも積極的な募集を行っていただきました。

その結果、参加者の約8割は新聞記事及び広告を見て来場されていました。また、HPアクセス数は会議開催週（11月8日～12日）に1000回を超えました。

＜バナー見本＞



【議 事】

：司会進行 内閣府対日直接投資推進室

＜開会あいさつ＞

宮古島市副市長 長濱 政治氏

＜第一部 イン트로ダクション「What's 対日直接投資？」＞

「対日直接投資の意義-JETROの活動紹介-」

日本貿易振興機構（JETRO）対日直接投資部部長 長島 忠之氏

「対日直接投資の成功事例の紹介-意義と課題-」

プライスウォーターハウスクーパーズ（PwC）

シニアマネージャー ベンジャミン クロス氏

「対日直接投資の事例として-太陽光発電分野の今後-」

グリーン・ニューディール・アドバイザー 増山 壽一氏

「外資系企業から見た日本の太陽光発電市場」

サンテックパワー ジャパン代表取締役社長 山本 豊氏

＜第二部 トークセッション「対日直接投資とは？-太陽光発電分野を事例に」＞

パネリスト：

サンテックパワー ジャパン代表取締役社長 山本 豊氏

太陽光発電協会（JPEA）幹事 西堀 仁氏

プライスウォーターハウスクーパーズ（PwC）

シニアマネージャー ベンジャミン クロス氏

日本貿易振興機構（JETRO）対日直接投資部部長 長島 忠之氏

グリーン・ニューディール・アドバイザー 増山 壽一氏

<閉会あいさつ>

内閣府沖縄総合事務局経済産業部
内閣府対日直接投資推進室

<名刺交換会>

【概 要】

対日直接投資は、新しい技術や革新的な経営をもたらし、雇用機会の増加にも寄与するものです。他方、外資系企業の日本進出による日本企業への影響を心配する声もあります。

今回の会議では、投資対象として内外の関心の高い太陽光発電分野を事例として、今後の対日直接投資のあり方について、講演・意見交換を行いました。

まず、日本貿易振興機構(JETRO)やプライスウォーターハウスクーパーズ(PwC)、サンテックパワージャパンから、外資系企業による対日直接投資の事例を紹介することにより、対日直接投資を身近に感じてもらうとともに、日本における外資系企業の取組等について紹介していただきました。また、太陽光発電分野を事例として、今後の対日直接投資のあるべき姿のポイントについて議論しました。

<開会あいさつ>

宮古島市長濱副市長より、「環境モデル都市」宮古島における太陽光発電の重要性を説明していただいた上で、宮古島での会議開催への歓迎の意とともに、開会のごあいさつをいただきました。



<第一部 イン트로ダクション「What's 対日直接投資？」>

JETRO長島部長からは、対日直接投資の意義やその促進の課題、具体的な事例、今後の見通し等についてご講演いただきました。



PwCのクロスシニアマネージャーからは、個々の企業がM&Aを取り入れる背景、そのメリットや、M&Aの地域別動向、沖縄県への投資の成功事例などをご講演いただきました。

また、グリーン・ニューディール・アドバイザー増山氏からは、「太陽光発電」分野を魅力ある投資対象の事例として取り上げ、宮古島のエコアイランド構想などを紹介していただきました。





サンテックパワーージャパン山本社長からは、太陽光発電市場の現状と今後を整理していただいた上で、世界から見た日本の太陽光発電市場の魅力、課題や参入障壁、さらによりよい市場になるためのポイントなどを紹介していただきました。

<第二部 トークセッション「対日直接投資とは？-太陽光発電分野を事例に」>

対日直接投資について個別の論点を取り上げながら、意見交換を行いました。

特に成長分野として期待されている太陽光発電を事例として、我が国と外国の投資環境の違い、経済の活性化や雇用創出の可能性、より魅力的な市場になるための課題など、対日直接投資の未来を議論しました。

また、対日直接投資の促進のために、我が国の魅力を積極的に海外に向けて発信していくことの重要性が共有されました。



また、太陽光発電協会（JPEA）の西堀幹事からは、太陽光発電という成長分野で、国内外の差を無くして同じ条件で競争すべきという基本的な考え方や、グローバル化する市場で企業はどのように考えているのかについてコメントしていただきました。

<閉会あいさつ>

内閣府沖縄総合事務局経済産業部長山内より、経済振興・雇用の確保のために、「クリーンエネルギー」「健康」「沖縄ならではの文化産業」の振興策を考えるなかで、対日直接投資の観点から、地元にあった企業の誘致を考えていきたいとあいさつをいたしました。



内閣府対日直接投資推進室長藤原より、開催にご協力いただいた関係者の皆様に広く感謝の意を伝えると共に、太陽光発電分野などの成長産業を活性化させるという観点から、対日直接投資も活用して、成長分野のさらなる発展につなげていきたいと閉会のあいさつをいたしました。

<名刺交換会>

閉会后、会場にて名刺交換会を行い、参加者とパネリストの交流を行いました。